



とよおか

第 56 号

平成24年1月20日

# 議会だより

発行／長野県豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



～かがやく女性シリーズ～  
なでしこ消防団員

(豊丘村消防団出初式)

12月定例会



議長年頭あいさつ .....	1
12月定例会のようす .....	2
予算特別委員会の質疑から .....	3～4
一般質問 .....	5～10
委員会だより .....	11
議員の意志表示一覧表 .....	12
国内視察研修報告 .....	13～14
みんなの声・私がんばっています .....	15



この議会だよりは、再生紙を使用しています



# 年頭のごあいさつ

村議会議長 下 平 豊 久



新年明けましておめでとうございませう。

村民の皆様方には、すがすがしい新春を迎えられたこととお喜びを申しあげます。

引き続き議長の要職につくこととなりませう。

就任以来村政の進展と議会活性化に全力を注いで参りました。

この間、村民の皆様方からお寄せ頂きました温かいご指導やご厚情に対しまして厚く御礼を申しあげますと共に、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災とそれに伴う福島第1原発事故という、まさに国難ともいえる未曾有の大災害に遭遇し、命の大切さを痛感させられた年でした。

また、さまざまな災害復旧・復興支援の取り組みの中で、人と人・地域のつながり、絆の大切さや、互いに助け合う結い心の大切さを改めて痛感させられた年でもありました。

一昨年来の円高による経済不況は、ヨーロッパでの金融危機が追い打ちをかけ、深刻な雇用不安と生活破壊がさらに進行しております。

期待を抱いた民主党による政権交代は、短期間に3人目の野田内閣が誕生いたしました。

国民の期待を裏切り、災害復興・原発被害対策、経済対策や国防・外交政策に有効な対策が取られないばかりかTPPへの参加表明や沖繩への基地の押し付け強要は国民の期待をうらぎっております。

こうした中で、昨年5月の国交鉄道部会のリニア新幹線の南アルプスルートと飯田駅の設置の決定は南信州地域の将来に大きなインパクトを与えました。

厳しい状況のもとで山積する諸課題に取り組む議会の役割と責任の重大さを自覚し、さらなる議会の活性化に取り組んで参りたいと存じます。

村民の皆様方の、今後とも議会への変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

村民の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。





# 第四回定例会

## 総務課内にリニア対策室設置 村債（借入金）8件繰上償還

平成23年第4回定例会は、12月6日より20日までの15日間の会期で行われた。  
今定例会には、条例案3件、補正予算4件、契約案件1件、議員発議2件が提出され、それぞれ原案どおり可決、陳情2件も採択された。

### 条 例

### 補正予算

#### ◎暴力団排除条例の制定

県警からの要請で県下全市町村で制定をめざしたものである。

#### ◎一般会計補正予算第4号

補正額 7559万円

総額 39億2844万円余

主なものは：

◎減債基金条例の一部改正  
村債の償還財源確保のための基金条例が平成元年9月に制定（されている。今回、処分（償還）できる場合の規定を2項目追加したものである。

#### ◎課設置条例の一部改正

総務課の事務に「リニア対策」を加えたものである。又、規則で同課内に「リニア対策室」を設置することとした。

・巻ヶ城橋改修費等の工事請負費：5000万円

村道長沢線の巻ヶ城橋（平成5年竣工）は、凍結防止用塩カルの溶液によって橋台の鉄が腐食し危険となったため改修をするものである。（400万円）、他に、中央横断線戸中地籍の吹き付け工事費に1000万円を計上した。  
・防災対策として、衛星携帯電話11台と非常発電機1台、532万円を計上。電話器は7区へ1台づつと、災害時に孤立が予想される4地区へ配備する。  
・公債費：1億310万円  
平成4年から14年にかけて借入れした8件について、繰上償還するため計上した。この

繰上償還によって利息1048万円余が負担軽減となる。  
・歳入は、村税3300万円と、国庫支出金3442万円が主なものである。

#### ◎介護保険特別会計補正予算第3号

補正額 5204万円余

総額 8億0176万円

保険給付費の増によるものであるが、施設介護サービス給付費が80%を占めている。

#### ◎簡易水道特別会計補正予算第2号

補正額 △600万円

総額 2億9238万円

河野新田地区の先行投資工事が施行不可能になったことによるものである。

#### ◎下水道事業特別会計補正予算第3号

補正額 △2878万円余

総額 3億5914万円

減額補正は簡易水道特別会計と同様の理由による。

### 発 議

#### ◎村長の専決処分事項の追加について

この発議は、前号で説明しているが、地方自治法第96条第1項第13号で「議会の議決事件」として、「法律上その義務に属する損害賠償の額を定めること」と規定している。公用車による交通事故や村道上における落石等による通行車両の損傷に対し、村が賠償の責務を負った場合、その賠償額は議会の議決を経なければならぬこととなっている。この場合、賠償額が50万円以下であれば、村長が専決処分できることを議会が指定するものである。

#### ◎介護職員処遇改善交付金の継続を求める意見書

陳情の採択を受けて、国会・内閣へ意見書を送付するものである。

# 会の質疑から＝

# ・介護給付費に4千万円余

## 通信運搬費の増額は

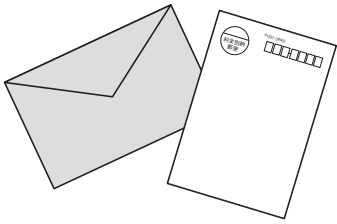
＝個人宛文書増加による＝

唐澤議員 通信運搬費が150万円増額されたが、何に使うのか。

総務課長 個人情報保護から、個人宛文章は上段を郵送し、下段は配達している。ただ発送文書が多い場合は、郵送に廻しているための経費である。

井原議員 役場が大規模災害で被災した場合の、電磁記録のバックアップとは具体的にどのような内容か。

総務課長 現在、住民記録や税金をはじめ多くの業務でコンピュータで処理している。万一、東日本大震災のような災害を受けた場合に備え、委託先である株電算に役場内と同じ記録を保管していただくこととした。そのため費用122万円である。



## 出産祝金が増えた理由は

＝当初見込みより13人増えた＝

松村委員長 出産祝金の増額理由はなにか。

住民課長 当初は55人分を計上したが、ありがたいことに68人が出産する見込みとなった。よっ



可愛い1歳～2歳のとことこ広場

て、不足する13人分、170万円を補正するものである。

松下議員 畑田井水路の補償金300万円は具体的には何か。

産業建設課長 寺垣外地籍の水路工事に伴い、支障となる畑地灌漑制御棟の解体と水道管移設費用である。

片桐(秀)議員 長沢線巻ヶ城橋の改修工事は、架橋後そんなに経っていないが、4000万円

かけて工事をする必要性は何か。産業建設課長 橋の調査で、凍結防止用の塩カル散布により橋桁などが腐食していることが判明した。強度に悪影響があるため橋桁を中心に改修するものである。

## 防災対策を充実した内容は

＝災害弱者の支援策を執った＝

大原議員 太陽光発電への補助金60万円の補正の内容と、設置戸数の累計は。

産業建設課長 1戸当り20万円の補助で、3戸の新規設置を計上した。これにより、本年度末で117戸が設置することになる。

唐澤議員 消防費にある被災者支援・要援護者支援システムとは何か。又、衛星携帯電話を11台購入することだが、配置はどうするのか。

総務課長 大規模災害が起った時の被災者の状況など、被災に関連するすべての情報について、一元的に管理するコンピュータシステム。加えて、介護認定者や障害者など災害弱者の状況を、地図に記載するシステムを組み

# ＝予算特別委員

## 借金の繰上償還に1億円余

合わせたものを新たに作るための費用である。補正額は370万円、県の補助金が約200万円である。

なお、この両方を設備する自治体は県下でも少ない状況である。

又、衛星携帯電話は、災害時に通信が遮断されたときのもの、各区に1台と、残り4台は孤立が予想される地区に配備する予定である。

### 借金の繰上償還の利点は 利息1048万円が軽減に

唐澤議員 公債費の繰上償還費用として1億円余が計上されているが、この8本の中に交付税で100%見てくれる起債も含まれている。今、償還する意味はないのでは。

又、繰上償還する8本の中には、比較的利率が高い郵便貯金からの借入れが含まれていないが、その理由は何か。

総務課長 確かに償還時に交付税で面倒をみてくれる起債もあるが、これについては繰上償還をしても、一定期間について交付税で全額を面倒見てもらえる

ことになっている。

又、郵便貯金からの借り入れについては、補償料が必要なので繰上償還してもメリットが少ない。

松下議員 交付税470万円余の補正は何か。

総務課長 東日本大震災により消防団員が殉職され、その負担金が追加されたための措置が400万円。

又、南相馬市民の受入れに関して70万円が措置された。

### 介護給付費増加の 原因は 施設入所費が大幅増に

唐澤議員 介護保険の保険給付費が5千万円余の追加補正がされているが、この内容は、

住民課長 主なものとしては、施設介護サービス費で4161万円を計上した。特に療養型施設への支払いが増加しているの

が原因。

又、介護認定者がこの4月以降14人増加し、10月末で381人になったのも要因である。

### 水道の先行投資を 見送る理由は

誘致は順調、工事は1年後

片桐(秀)議員 簡易水道事業で、工事請負費が1200万円減額になっているが、これは何か。

環境課長 河野八王子地籍の工場団地予定地への配水管布設工事費で、先行投資分である。当初予算化はしたが、立地が確定してないため、設計や工事の時期等を勘案して、今年度はやらないこととした。

片桐(秀)議員 進出予定企業の動向はどうか。

産業建設課長 予定通り進んでいる。農振除外のための下協議も行っており、来年1月の農業振興協議会に諮る予定。なお、正式発表は来春まで待つてほしい。



塩カル腐食で改修される巻ヶ城橋





# 質問



## 質問 職員の給料削減は。「とよおかまつり」の職員対応は。 答 全員がボランティアで参加した

吉 川 明 博

質問 村民はとよおかまつりにボランティアで参加しているが、職員の対応は。又職員の給料は民間より高いと言う声があるが、削減の考えは。

村長 正規職員63名が11月12日13日の2日間に分かれ全員ボランティア（無償）として参加した。地方公務員の給料は時代、経済の流れと共に、民間が下がって公務員給料がそのままだった。普通の人たちよりも高くなっているということは事実だと思う。

質問 法令順守と危機対応の研修などは、行う予定はあるか。

村長 豊丘村は1月に危機管理と公務における損害賠償、情報セキュリティ体制について、職員研修をする予定。

### 豊丘村職員の職務感性の醸成を提言

質問 職員のあるべき職務感性として

1、支出削減、減税を目指す基本姿勢を全員に徹底し、庁舎内外に標語を自ら作り、貼り、朝礼で唱和する。

2、管理職任用時に支出削減、減税を目指す基本姿勢を誓約する。

3、担当者レベルの日常事務及び作業の文書による詳細な標準化（事務

処理標準書の策定）  
4、3の標準化による自己業務点検の習慣化、職務経験者による自主小規模監査  
5、条例、業務規定の定期的読み合わせによる理解反復学習など具体的な施策を策定すべきと考えるが、村長の考えは。

村長 有効と思われる事柄については、行政改革で具体的に指示する。（質問事項1部割愛）



明るくなった!?窓口風景

## 議会活動報告

十月～十二月

◎ 10月

5日 議会、だより編集委員会

6日～7日 町村監査委員全国研修

7日 高齢者問題研究会

11日 長野県議長会役員研修

12日 例会監査・定期監査

12日 議会、だより編集委員会

14日 議会、だより編集委員会

17日 飯伊市町村議会議員研修会

21日 総務産建委員会

24日 三遠南信サミット

25日 中学生模擬議会

26日 長野県議長会総会

社会文教委員会

27日 監査委員研修会

北部総合事務組合議会

北部ブロック議会総会

全員協議会

◎ 11月

1日 広域連合議会

4日 監査委員ブロック研修

7日 後期高齢者広域連合議会

租税協総会

11日 例会監査・定期監査

15日 広域連合会議

新人議員勉強会

16日～17日 町村議会議長会全国大会

# 一般



## 質 火葬場候補地の選定結果は 答 林区、田村区推薦の2ヶ所を

川 野 孝 子

**質問** 候補地決定に至ったいきさつと  
具体的地名を聞きたい。

**村長** ひとつは林区の川島地区で日向  
山ダムの少し下流域。もうひとつは田  
村区の山田地域で、推せんの方法につ  
いては、区長の方々に責任を持って地  
域を推せんして頂きたいとお願ひした。

何故この方法をとったかという  
候補地を決めるには何よりも地元の方  
解をいただけるかどうかにかかっている。  
区を通して自治会長さんを下ろし  
て頂き、村も一緒になってその  
地域を考え今回2ヶ所の決定に  
至った。

**質問** 区へお願ひする方法は良  
かったと思うが、村長としての  
リーダーシップはどの様に反映  
させるのか。

**村長** 区へ丸投げをしたのでは  
ないかという声もあるがリーダー  
シップとしてこの方法を選び、  
上げることが出来たということ  
が何より良かったと思う。

**質問** 北部地区から出された5ヶ  
所の候補地について、今後検討  
委員会が選定作業に入っていく  
と思うがその日程と内容は。

**副村長** 今後は選定基準に基づ  
き敷地、道路、水路等数値化す

の中で5ヶ所の評価をし、3月までに  
は候補地を絞り込みたい。

**質問** 火葬場が身近に設置されるに当  
たり、霊柩車を見た時には亡くなった  
方に敬意を表わす村民性でありたい。子  
どもたちにもそういう教えは必要と考  
えるが。

**教育長** 人の死を意識することによつ  
て精いつばい生きようということもあ  
る。よりよい生き方につながればと考  
える。



山田地区の候補地

県知事・県議会議長要望活動

22日 国保運協委員研修

21日～22日 国会要望活動

24日 議会運営委員会  
臨時議会

25日 広域連合議会

28日～30日 国内研修（京都・高知・愛媛）

12月 議会運営委員会

1日 議会運営委員会

2日～3日 広域連合視察

5日 竜水園連絡協議会

6日 議会運営委員会

第4回定例会開会  
全員協議会

7日 例月監査・定期監査

8日 長野県議長会役員会

9日 社会文教委員会

12日 総務産建委員会

13日 北部事務組合議会全員協議会

14日 広域連合議会

15日 一般質問

16日 予算特別委員会

19日 議会運営委員会

20日 社会文教委員会

リニア建設促進飯伊期成同盟会

議会運営委員会

第4回定例会 再開

全員協議会

第4回定例会 再開

全員協議会

第4回定例会 再開

質 問 どうする第5期介護計画

答 介護予防の強化を図っていききたい

片 桐 秀 人

質問 本村は北部5町村の中で介護認定者の重症率が一番高い。したがって介護費用も保険料も高い。この原因はどこにあると考えるか。

村長 介護保険関係にたずさわる職員が少ない、介護予防の拠点が一つしかない。県下でも長寿者が多いと思われる。質問 今後の介護保険料はどうなる見込みか。

住民課長 22年23年は介護サービス費が高水準にあった、次期の保険料は20%高い5200円になる見込みである。

質問 重症者が多ければ結果として保険料も高くなる。次期計画ではどうするつもりか。

村長 今後地域でのミニデイサービスやリハビリ教室、介護予防教室などを実施して介護予防の強化を図って行きたい。

住民課長 地域の方々の協力を頂き、今まで出の悪かった方や特に男性の方たちに呼びかけて行きたい。

質問 来期に地域密着型デイサービスや配食サービスを取り入れてはどうか。村長 現状を打破するためにはしっかりと検討し、住民と共に頑張りたい。



カルタとりに興ずる高齢者 (はつらつにて)

質問 本村の住民課の仕事量は他町村に比べて多すぎる。子ども子育て関係は教育委員会に移すような組織改革をしてはどうか。

村長 確かにそうである。社会教育施設が完成した段階で行うよう、現在内部で検討中である。

質 問 住民の居場所づくりの具体策は

答 極めて重要な課題である

酒 井 浩 文

質問 社会的孤立は幅広い世代に起こりうる問題であり、特に高齢期において影響が大きい。現在、地域住民が「つながる」「つどう」ことができる「居場所づくり」の重要性が指摘されているが、村における具体策は。

村長 未来を担う子供達、子育て中の親子、一人暮らしの高齢者などを孤立させることなく、明るく笑顔で暮らせる場をつくること、支援することは村の重要な課題である。地域単位でのミニデイや介護予防教室、健康教室の実施のほか、建設計画中の社会教育施設も「居場所づくり」の意見を反映させたい。

質問 居場所づくりの取り組みに、民家や集会施設などを活用した高齢者対象の「ふれあい・いきいきサロン」や子育て中の親子対象の「つどいの広場」などがあり、介護予防や子育て支援に大きな効果をもたらしている。地域密着の事業として村内で展開できないか。

住民課長 地域単位でのミニデイや気軽に集える場所の設置は非常に大切であり、今後計画している。地域住民主体の設置が理想だが、立ちあげは行政主導で検討している。住民やNPO主体のサロン設

置の支援策も必要と考える。質問 居場所づくりの人材や将来の保健、福祉問題のキーマンとして、住民組織「保健補導員組織」の設置と活用を。

住民課長 健診の受診率向上や、住民の健康知識向上にも大変有効であるが、住民の協力が必須なので現在検討中である。新年度に具体的な方針を立て検討していく。



村内のつどいの広場



質 日赤奉仕団の一層の充実を

答 団員確保に取り組む

大 原 千賀子

質問 新たに分区長とられたのですが、日赤奉仕団の必要性、任務についてどのように考えるか。

村長 有事の際の地域防災対策の要として、消防団とともに重要な役割を担う団体と位置づけている。地域の防災や福祉活動に力を尽くしているが団員の減少が深刻。地域の絆やコミュニケーションのため団員確保に向けた対策を進める。

質問 私の地域も有事があつてから日赤の重要を知り、立ち上がりました。災害が多くなつているので尚一層地域のつながり、支えあいが必要。人口の多い河野区8%田村区11%と低い、加入率の高い地区もあるがこの状況にどんな対策を取られたのか、移住して来た方にも日赤を勧めて欲しい。

住民課長 過去に全員やめた所にも区長中心に勧誘したが実らず、今後は期間を設けて総会や役員会で勧誘する。

豊丘まつり運営上の配慮は

質問 まつりは盛り上がり良かったがトイレが汚れており、ペーパーもなく来場者はいやな思いをした。細かい気配りをされたか。役場内は洋式トイレが少ない、増設は如何か。



熱心な訓練風景

年末年始の防犯取組みは

総務課長 トイレの清掃も役場職員で組んであったが、ご不便ご迷惑をかけた、来年以降は気をつける。洋式にするには間取りが狭いので不可能。

質問 振込み詐欺等多発している、村の現状と年末年始の取組みは如何か。

総務課長 振込み詐欺等は村内にはないが空き巣等の軽犯罪は今年17件昨年並。年末警戒は警察が巡回、消防団も夜警をする。村では有線やCATV等による周知広報をする。

質 遊休農地解消の具体策は

答 農地リフレッシュ支援制度等で

松 下 亨

質問 豊丘村の遊休農地は100畝と聞いているが、今後は担い手の高齢化により急激に増加すると危惧している。遊休農地の増加で景観を始め多くの弊害が発生されている。そこで、遊休農地面積の推移と今後の予測、及びこれまでの対策と今後の実効ある対策について伺いたい。

村長 遊休農地の今後の予測は、現状維持又は緩やかな増加との希望的観測をしている。具体策として、農地リフレッシュ支援金制度を今年度創設した。又、担い手支援耕作支援事業もある。来年度に第5次長期振興計画を樹立するが、この際に田村原とか伴野原の団地毎に検討していた。ただけたらと考えている。

遊休農地管理台帳を整備すべき

未然防止の具体策を提案する

質問(提案) 遊休農地の解消には長期を要す。又、職員も交代するので管理台帳を整備し、一体的に管理したらどうか。又、急激な増加に備え未然防止策として、団地毎に現役の耕作者とその主たる相続人、そして畑かん組合等との協定(三者協定)を締結し、耕作



散見される遊休農地

者が万一の場合に草刈り等最低限の維持管理を主たる相続人の費用負担で管理をしていただけたらどうか。

産業建設課長 地図情報の中で遊休地については一目瞭然でわかるシステムはあるが、指導の経過等は別の書類で整理している。又、未然防止のために現役のときから将来を考えることは大事な事。難しい点はあるが遊休地にしないため研究すべき提案と考える。

質 災害時の福祉対策はどうか

答 防災計画の見直しで検討する

片 桐 眞 理 子

質問 一、福祉避難所の設置は高齢者や障がい者など要援護者のために設置されるものである。「はつらつ」「ほほえみ」が指定されているが、災害が発生していないので開設されておらず、そのためにあまり知られていない。人数の把握、生活物資等、事前の準備についてはどのように考えているか。

総務課長 被災者支援システムを導入し活用。防災計画の見直しも合わせ検討を加えていく。

質問 二、ガラスによる怪我を防ぐため窓ガラス飛散防止フィルムへの貼り付け。三、震度6までの地震に対して落下防止をする書籍専用の地震対策シートの取り付け。四、同報無線の聞きとりにくい所へのテレホンサービスの導入。この三点の取りくみについてのは考えは。

教育長 二、三、については大事なことなので、予算が許せば計画的に進めていきたい。

総務課長 四について検討を始めていくが結論はでない。

質問 自然エネルギーの活用が注目をあびる中であるが、太陽光発電の助成



地震対策が待たれる図書館の書棚

は今後も続けていかれるのか。また小水力発電について村での研究、取り組みについてはどう考えているか。

村長 太陽光発電の助成について当面は継続したいと考えている。国の政策が進んで水利権許可の簡素化や技術が進んでくれればいいが現段階では教育効果はあると思うが、導入となるとまだであり段々に考えていきたい。

質 公平な情報提供の在り方は

答 可能な限り広報媒体によって行っている

井 原 康 明

質問 募集などの情報を提供している方法で、インターネットでの方法は高齢者など、住民の末端まで情報が届かないことや、繰り返し提供が必要と思うがどの様に考えるか。

村長 村内はインターネットの加入が少ないが、広報媒体として、文書による回覧、ホームページなど出来るだけ様々な媒体で載せている。

総務課長 空き屋対策事業は、空き屋登録システムに登録して頂いて情報提供しているもので、ホームページで広報している媒体となり広報紙には載せていないのが現状。又、対象物件によっては繰り返しするものとしはないものがある。

要望 多くの住民に情報が伝わるべきで、今後の情報提供の方法は、出来るだけ広報紙の併用や繰り返し提供をお願いする。

茸山管理と今後の取り組みは

質問 茸山シーズン終了後の反省会内容と次年度はどの様に取り組むか。

産業建設課長 反省会は11月22日に実施した。ゴミの量も多く、国有林への違法入山は、国との協議が必要と感じている。



とよおか放送ネットワークのデータ放送

次年度への取り組みとして、監視員の増員・国有林対策への働きかけ・警察への協力依頼・ゴミ拾いに参加してくれた人のみ入山券の発行などを検討する。

要望 他町村にも話を伺うと、当村と同様な問題があり困っているとのこと。一部の町村では豊丘を参考にしたく、管理方法が充実したら、是非情報を提供してほしい希望があったので、更に健全な茸山維持のために管理体制の検討をお願いしたい。



質 住宅リフォーム助成制度の継続を

答 何らかの見直しで継続を検討中

前 沢 光 昭

質問 4月より始まった住宅リフォームは使いやすさもあり大変好評。業者、利用者からも継続の希望がある。来年度同様の内容での継続を望みたいが考えはどうか。

村長 村内登録者からは、この厳しい経済状況の中「この助成金のおかげで息を吹き返した」という話も聞いています。効果は絶大であったと思う。何らかの見直しもあると思うが継続の方向で検討したい。

産建課長 12月9日時点で257件、3900万円の助成で2億4600万円の総工事金額。6〜7倍の経済効果。

来年度は何らかの見直しの中で、たとえば商品券を使うとか、助成金が商工業の振興につながるような取り組みにしたい。

憲法9条への村長の考えは

質問 終戦後66年、憲法9条をめぐって改定の動きがある。国会議員を中心に「改定懇話会」など若手議員などかなりの数の国会議員も参加している。

地方自治体の首長も過激な発言をする首長が増えてきて

住宅関連工事の1/4を助成します!

ただし、20万円以上の工事で登録した村内業者の施工に限ります!

助成金の上限は20万円です!



役場とのやりとりや書類は全て私達が対応します。

リフォーム助成金事業

いる。私は歴代村長にも聞いてきたが、村長の見解を聞きたい。

村長 これからの日本の将来に向けて大変難しく、大事な問題と思う。世界第4位の軍事力は自衛隊というより軍隊、9条の心は信念と思うが、現実に合わせていないところは現実に合わせておくべき。9条の何を守って何が違うのか国民が議論すべき。

※この他に義務教育費保護者負担の軽減について質問しました。

質 平成24年度予算編成の基本方針は

答 選挙で約束した施策の実行を基本に

唐 澤 啓 六

質問 平成24年度予算編成について何う。①基本方針は。②未満足保育の希望が急増しているが対策は。③介護や福祉、保健分野の対策は。④交通弱者に対する公共交通施策は。⑤農業振興対策、特に担い手の育成と遊休農地対策は。

村長 ①安心安全で笑顔あふれる村づくり、力強い産業の育成、行財政改革の断行等、選挙で約束した施策の実行を基本にしていく。②施設を増やし、保育士を増員して受入れしていく。③議会からも具体的な提案をしていただいているので、力を合わせてしっかりとやっていく。④村営バスと福祉タクシーを改善して対応していく。⑤農業の持つ多面的機能からすれば、衰退を少しでも止め、守っていくために行政が支援していくことが必要である。

次期介護保険料の値上げは最小限に

質問 平成24年度から26年度までの第5期介護保険事業計画の策定が進められている。

①保険料の試算値はいくらか。  
②全国的にも大幅に値上げになると聞



H24年度予算編成会議

いているが、保険料上昇の抑制対策として、一般会計からの繰り入れをすべしと考えるが。

住民課長 5200円(月額)くらいと試算している。

村長 一般会計からの繰り入れは制度上認められていないので、できない。

要望 保険料軽減のために、市町村が一般会計から繰り入れすることは現行の介護保険法では禁じられていない。大英断を期待する。



# 総務産建

# 委員会だより

## 「リニア対策室」設置に向けた 条例改正など全会一致で可決

総務産建委員長 松村 正三

第4回定例会開会日に総務産建委員会に付託された条例制定案1件、条例改正案2件について、12月12日の委員会で審査し、全会一致で可決後、20日の本会議へ送った。

施行しようとするもの。  
今回の制定は、長野県条例で規制の網がかからない部分を豊丘村の条例で規定し、自治体が行、住民の暴力団排除意識と機

### ①豊丘村暴力団排除条例

この条例は、社会全体で暴力団を排除し、村民の安全で平穏な生活の確保と、社会経済活動の健全発展を目指すために新たに制定するもの。

長野県においては、23年3月に条例が制定され、同年9月より施行されており、県下77市町村すべてで23年中に制定し、24年1月1日より



リニア予定ルート？

運の醸成を目指すもの。

②豊丘村減債基金条例の一部改正

この改正は、減債基金の処分（取り崩し）の規定に、今後の経済事情の変動等により生じる財源不足の場合における村債の償還財源に充てることが出来るものとするなどを追加し、規定に中を持たせるもの。

③課設置条例の一部改正

この改正は、総務課の分掌事務に「リニア新幹線の建設に関する事項」を加え、条例施行日に併せ組織規則も改正して、総務課内に「リニア対策室」を設置しようとするもの。

リニア対策室は、リニア中央新幹線建設に関する課題に、迅速かつ的確に対応するために設置するもので、広範囲に及ぶ課題をとりまとめる担当セクションを定め、村民、JR東海や国、周辺市町村など関係機関に対する窓口を明確にして、情報収集や対応策の検討・実施・外部との連携・必要な情報発進などを行うとしている。

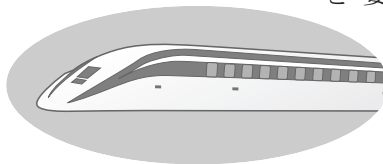
## 社会文教

### 介護職員処遇改善交付金の継続を 求める陳情書等2件を採択

社会文教委員長 川野 孝子

○「介護職員処遇改善交付金の継続を求める陳情書」については、平成23年度末で終了するものとなつて、平成24年度以降も継続を求めるものである。

介護現場は現在も職員の不足が深刻な状況にある。この交付金については申請に基づいて受けられるものであるが、介護士の賃金アップのみの





議員研修視察が11月28日から30日の3日間実施された。

視察の第一陣は唐沢議員を視察団長とし、松村議員（副団長）・片桐（義）議員（会計）原議員（会計）・前沢議員（企画）・片桐（眞）議員・大原議員・松下議員・井原議員の9名が参加した。初日28日は京都府の南丹市にある八木バイオエコロジーセンターを視察し、翌日は高知県の梶原総合庁舎及び水力発電を視察、最終日は愛媛県の内子町フレッシュパークを視察した。

# 内子町

## 八木バイオエコロジーセンター

— 京都府 南丹市 —

報告者 井原 康明



バイオガス貯蔵タンク

南丹市は8町村が合併して出来た市で、人口は約35000人で古くから畜産農家が多く、酪農の盛んな地域であった。その中で八木町の状況は、合併前から畜産農家から排出される家畜のフン尿の量が大変多く、臭いも発生して生活環境が非常

に好ましくない状態でした。住民達から何とか改善しようとするのが、様々な問題を話し合い、町や市と協力して国の補助制度を上手く活用して、環境に優しく、雇用を創出し、皆が関われる再生エネルギー活用事業を築き上げ、現在の快適な生活

環境の町を生み出したのは、大変すばらしいものでした。

事業内容としてはエコロジーセンターを拠点とし、畜産農家から排出されるフン尿をセンターに集め、メタン発酵を行い、バイオガスを発生させて熱エネルギーや発電を行って施設内全てに活用している。又、二次発酵させたフン尿は肥料となり一

部には液肥にもなって全国に販売されており、地元農家の希望者にも水稲や露地野菜の安全な肥料として再利用されている。当地域の農産物の収穫量も増え、食の安全性も高くなり、雇用も増えて担い手不足であった農家も希望が持てる様になったとの事でした。更に拠点を増やす取り組みや、町の企業にも協力してもらい新たな町づくりに向かっていく様子は改めて感心させられました。

事業としては費用を大変必要とする面もありますが、豊丘村としても学べる所は多く、発想の転換や住民が丸となって、小さな事から大きな改善につながっている点は大変参考になると感じました。

今回は議員のみの視察研修であったが、更に住み良い村づくりを目指す為、理事者側からも是非視察に参加が必要と研修報告会で提案を行いました。

## 自然エネルギー駆使で

### 環境モデル都市に

— 高知県 梶原町 —

報告者 松下 亨

この町は、高知県と愛媛県の境に位置する人口3853人の過疎が進む山村。

年間の売電収入が3500万円。これを基金に積み立て、他の電源の開発資金に。

しかし、今や環境先進地として全国の注目を浴びている。それは、町内にあるすべての電力資源を自然エネルギー化して、低炭素社会の実現という崇高な目標を掲げ歩んでいるのだ。その概要について報告します。

水力発電 四万十川上流河川横から、落差6mの小水力発電機を設置。発電出力は53kwで中学校と街路灯82基に使用。

風力発電 四国カルスト台地に設置した北欧製大型発電機は、2基で電力1200kwの発電機。

太陽光発電 民家と公共施設128か所に設置。発電出力は880kwで、普及率は全国屈指という。

地熱発電 地下100mから採取した地中熱を圧縮加熱して2

地熱発電 地下100mから採取した地中熱を圧縮加熱して2



# 国内の視察研修報告

## ＝ 京都府 南丹市、高知県 梼原町、愛媛県

### 循環型農業と農産物の 履歴情報開示を学ぶ

— 愛媛県 内子町フレッシュパークからり —

報告者 大原 千賀子

からりとは、果物、香り、花、加工を楽しむ里、の意味。

- ① 愛媛県の内子町は人口2000人、戸数7000、農家数2500（兼業農家450戸）観光と農業振興の検討があり、平成4年に「内の子市場」を開設、産直のトレーニングの結果
- ② 生産者名を明らかにしたい
- ③ 正確、迅速な精算をしたい
- ④ 残品の情報が欲しい
- ⑤ 直売所の販売情報が欲しい

これらの課題が情報ネットワーク「からりネット」導入の基となり、平成9年資本金2000万円、第3セクターとして町から半額と住民の出資金で指定管理者としてスタート。「からりネット」は専用の農業情報端末を使い、FAXや電話、携帯に拡大、直売レジと農家の繋がりが所得の向上となり年100万円から1000万円上げる人もいる。生ゴミを堆肥化し土作り



梼原町 小水力発電所

30kw相当の発電出力。これを温水プールで使用する。木質バイオマス 町内の91%は森林という恵まれた条件下で、間伐材等を利用して木質ペレットを製造。ペレットストーブを普及させ、公共施設等で冷暖房や給湯に使用。

「町の将来像を明示し、全町民の意思を問ひ、全町民で実行することの大切さ」を学ぶ。

風力発電は4億5千万円の大

型事業。これの賛否を全住民にアンケートで問ひ、95%の賛成で事業開始したという。先見性の確かさに加え、民主主義の基を垣間見た思いでした。地域づくりは、行政・議会・住民が一体となり、進むべき目標をきちんと定め、その実現に向け全住民が力を合わせて進むことの大切さを学びました。



多品目が並ぶ直売所

シリーズ「私、がんばっています」

北市場 平澤 宏幸 さん

今年には四年に一度のオリンピックイヤー。新年を迎え、豊丘村のアスリート達も新たな目標に向けてトレーニングに励んでいるが、今回はその一人、北市場の駅伝ランナー、平澤宏幸さんを訪ねた。

平澤宏幸さんは昭和55年8月生まれの31歳。両親、祖母、弟、妹の6人家族の長男で、現在、中部電気保安協会に勤務する現役アスリートである。

母の澄子さんは公民館ダンスサークルの代表者、弟の敏弘さん



みんなの声

12月22日、冬至の晩に毎年作る「かぼちゃと小豆のすいとん」。子供の頃に母が作ってくれたこのすいとんを作りながら、ふと、安曇野の祖母を思い出した。小学生の時、病弱だった母が亡くなり、祖父母の元で暮らすことになった。明治生まれの祖父母は、と

かぼちゃと小豆のすいとんと祖母と

北市場 田畑 かおり

でも厳しく「ここへ来て座れ。」と呼ばれると緊張して背中がびりつとしたものだ。ある時学校帰りに、やんちゃな男の子3人組にからかわれ、悔しくて半べそで家に帰ったことがあった。気が強くて負けず嫌いな私だったが、男の子3人が相手では、さすがにかなわなかったのだろう。祖母は、そんな私の様子を見て「わしが、ぐざつて(叱つて)きてやるでな。」と言って表へ出て行った。そして「誰がおらとこの(家の)

中学生時代はバスケットボール部に所属し、陸上シーズンには熊谷勝三先生の影響で様々な陸上大会に出場したという。

高校進学後は半年ほどテニス部に所属したが、陸上部に転部、中学校の同級生でもある原武司さん(小園)とのライバル関係は今も続いている。陸上を始め、昔からスポーツ全般が好きで、中学校では部活でバスケットボールをやっていたが、先生が地区の陸上大会や駅伝に連れて行ってくれ、自然に続けることがで

孫をいじめただ。今度いじめたら。おばあちゃんが許さないぞ。」と、仁王立ちで3人組を叱りつけた。いつもは厳しい祖母が、私をかばってくれたことが嬉しくて、心が暖かい安心感が満たされた。祖母は祖母のやり方で私を守り、一生懸命育ててくれたのだと、今になって思う。何も恩返しできなかったと悔やむ思いと共に：。

今、2人の娘達をかわいがってくれる豊丘の父母が元気でいてくれることが、何よりもありがたい。新しい年も支えてくれる人たちへの感謝を忘れずに過ごしたいと改めて感じている。



きた。就職して本格的な競技からは離れたが、数年前から再開し、今は生活の一部として続けている。ランニングは、いつでもどこでも手軽にできるのが魅力という。今はランニングで培ったバイタリティーで、仕事上の資格試験の勉強に頑張っているとのこと。将来の村づくりについて、長く住みたいと思える村にして欲しい。例えば子供を育てやすい、農業がしやすい、総合的に普通より少し上という感じが良いのでは。私の趣味はランニングですが、村民、だれもが趣味や生きがいを持って、生涯続けることが健康につながる。新たな年のスタートに、新たな目標や趣味を見つけて挑戦してみませんか?とアスリートらしく、あくまで前向きな平澤さんでした。

◇ 編集・発行 ◇

発行/長野県豊丘村議会  
編集/議会だより編集委員会  
〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地  
TEL 0265-35-9063/FAX 0265-35-8355  
ホームページ <http://www.vill.nagano-toyooka.lg.jp>  
電子メール [gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp](mailto:gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp)

発行責任者: 議長 平澤 久  
編集委員会: 委員長 松下 亨  
副委員長 大原 千賀子  
委員 酒井 浩文  
委員 井原 康明  
委員 唐澤 啓六

議会だよりに、ご意見・ご感想をお寄せください。